

在特会の論理（20） ——戸塚ヨットスクールに共鳴した T 氏の場合——

樋口直人（徳島大学総合科学部）¹

1. 経緯

本稿は、2012年4月6日に在日特権を許さない市民の会（在特会）で関西支部長をしていたT氏(50代男性)に対して行った聞き取り記録を、意味が伝わりやすいように適宜並べ替えて再構成したものである²。T氏は、もともと塾の経営者で「ノンポリ」を自認していたが、戸塚ヨットスクールに関する報道をみて共鳴し、それがきっかけとなって極右活動に関わってきた³。以下では、T氏の言葉をそのまま用いて活動家としての経歴をたどっていきたい。

2. 政治に対する関心

（政治に対する関心は）全然。全然ない。（選挙には）もちろん行っていない。そんなもの、選挙なんか行き始めたのは40（歳）過ぎてからですよ。本当に僕は一般の、普通のノンポリ。

だから大学受かって、ただ国立滑って、うちの親父は怒ってしまっただけ。日本にはお上が作った学校が、国立に行くのなら応援するけども、どこかの馬の骨が作ったかわからん学校、私立はうちの親父にいわせればどこ

¹ 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1、higuchinaoto@yahoo.co.jp。

² これまでのまとめとして、樋口（2012a, 2012b, 2012c, 2012d, 2012e, 2012f, 2012g, 2012h, 2012i, 2013a, 2013b）を参照。これらはまとめて、樋口（2014）の資料編として位置づけられる。本稿も含む一連のまとめでは、聞き取りの中で発せられた差別的な言葉や見方をそのまま掲載している。資料としての意味を損ねないゆえのことであるが、それが苦渋の選択であることはご理解いただきたい。

³ 戸塚ヨットスクールの校長自身は、日本会議の役員もしていることから、これ自体は不思議なことではない。

かの馬の骨の学校なんですわ。なら知らない勝手にせいと、なら勝手にするわと家飛び出して大阪に来て——母親は結構裏から応援してくれたけどね——大学に行きながら入ると同時にバイトですよ。もうバイトバイトバイト、朝から晩までバイト。で、家庭教師を始めて、その家庭教師ももちろん教育に興味があったわけではない。単に時間給が高いから。お金になれば何でもいい。

初めは自分で歩いていく。これはとても歩いていけないな、チャリンコ買う、バイク買う、車買って、最高のときに家庭教師7、8軒いったのかな。毎日3軒くらいですよ。ちょっと待ってよ、これは自分で行くより自分の下宿に呼べばいっぺんじゃないか。自分の下宿に呼んだ。自分の下宿が一杯になった、じゃあ近くの公民館を借りよう。公民館を借りた。これも一杯になってしまった。で、公民館よりきちっとしたテナントの方が格好がつく。で、ビルを借りよう。ちょうどそれは田中角栄の前なんです。だからバブルがよかったというけども、その頃はバブルの比じゃない。よく学生社長って言葉が流行りましたじゃん、あんなもの何をいってるんだ、俺は50年前にやってるよって話で。あの頃本当に日本がね、ちょうどあれですよ、Always 三丁目の夕日があんな時代ね、日本が高度経済成長の真っ最中で、ほらオリンピックだ新幹線だと。日本がガーっとバイタリティが、力があつた。それにうまく乗ったんでしょうね。

僕が大学4年、留年して5年目、大学5年目にね、1年間でトランザム——アメ車のこんなでかいアメリカンドリーム、あれを1年間で4、5台買った、そのくらい儲かった。そのまま卒業して、卒業するとかしないとかいう話じゃないのね。みな就職活動に走り回ってる、こいつらアホじゃないかという話で。それから3年、5年、ずっとどんどん生徒が入ってくる。しかし空しいんですよ。俺はこんなやっていいのかな、充実感がない。金は儲かるけどもね。

というのは、僕自身の中学高校が福井なんです。母方の方でね。だ

から福井で生まれて幼稚園ぐらいまでずっと横浜におったんです、4、5年。それから福井に戻ってきて小学校も中学校も高校も福井で。高校というのが、東大に20-30人入っているような公立なんですよ。中学校も勝つことがすべて。負けたら泥棒より悪い。だから運動会で負ける、試験で負ける、ともかく勝つことが正義、そういう教育を受けてきたんですよ。中学で。家庭というのは共働きで、家庭も学校もすべてがなんというのかな、ちぐはぐじゃなかったんですよ。僕だって自慢じゃないけど遊び好きだしね、多分あそこになかったら今頃呆けてますわ。高校も辛うじて入った、高校に入ったらその反動で山一直線。実際勉強なんかやらないで山ばかり行っていて。

だからそんな人生を送ったから、塾をやっている、30(歳)くらい40(歳)くらい、そうするとテレビでもね、子どもの意見を聞いてとか、子どもの視線でとか、子どもの立場でとかさんざんいうわけ。それで子どもの人権でしょ。だからやっぱ、そのギャップですよ。そんなもの人権ってなんだ、と。その時たまたまテレビで戸塚校長——戸塚ヨットスクール——の講演をたまたま見たんですよ。そうしたら、すーっと吸い込まれてね。自分と話が合うんですよ。それですぐテレビ終わったら手紙書いたんですよ。そうしたら電話がかかってきて、遊びに来いというからじゃあ行こうって、遊びに行っただですよ。あれいくつかな、30(歳)くらいかな、35(歳)くらいかな。それから10年間くらい土日は全部名古屋通い。ずっと土曜日日曜日は——金曜日に、夜に行くんですよ。あの頃はまだ高速もできてなかったから、6、7時間かかったかな。10年間くらい通いました。

やっぱり僕は、戸塚さんの言っていることが一番正しいと思います。残念かな、事故が起きたから。もちろん僕は事故を肯定するわけじゃないしね、事故は絶対起こしたらいかん。つい最近も自殺者が出ていますよ。どうしようもないもの。監禁したらいかんでしょう。部屋に持ち込んで鍵掛けておけばね、命の保証はできるけれども、鍵掛けたら

いかんというわけだからね、勝手に鍵あけて屋上から飛び降りるんだから、これはどうしようもない。でもやっぱり僕は、彼の言っていることが一番正しいと思います。

だから何のために教育をするのか、別に末は博士か大臣か、別に博士か大臣を作るんじゃないで、大きくなって自分自身が飯食える、嫁さんも養える。それが教育の最低限の目的じゃないかと。そう考えた場合にね、今この最低限の教育さえ——受けてはいるんだろうけれども、最低限の人として飯を食う（ことが）できない人がごんだけ——今は、3割くらいいるんじゃないかな。ニートとかわけのわからんのが。それでもっとひどいのだと勝手に結婚して勝手に離婚して、子ども3人つれて帰ってきて、それで生活保護。まあここで愚痴てもしょうがないけども、何でそんなものお前が勝手に結婚して勝手に離婚して子ども作ってだね、そんなものの面倒を俺がみないといけないのか。そこへ税金がどれだけ食われているか。そんなとこに使う金があったら、北朝鮮向けにミサイルの一発でも買うのが先でしょうと。防衛そっちのけにして、なんでそんな馬鹿なものを面倒みなきやいけないのかと思うけども。

戸塚さんと10年間付き合ったんですよ。彼の意見はあくまで現場で結果を出せと。現場で結果を出せば何が重要かわかってくれると。僕はそう思ってそう信じてきたんですよ。10年くらい付き合っ、やっぱりこれは現場で結果が出るのは出るんだけど、もうなんていうのかな、見にくいというか、時間かかるというか、かったるいんですよ。あの、強制ができないから。だから彼が捕まる前は、事故が起きる前は全部強制ですからね。監禁してやってるんだから。簡単ですよ。ところがそれがいかんというわけだから、時間がかかる。

だから僕は、ああこれは政治力、戸塚ヨットスクールを否定するのは日教組。日教組のバックは当時社会党です、今の民主党ね。ああ、これは政治でいじらんことには何もできないなど。それから今度、反日教組の政治活動に走りました。45（歳）くらい（の時）かな。ちょうどその

頃たまたまある人が——元中学校の先生ですよ——日本の場合には議員が教育は票にならん、だからもっと議員を教育に巻き込まないといけない。そう言うんで、百人の会という会を……。いろんな矛盾がありますよ。それを調べていけば調べていくほど、全部日教組ですわ。

で、今議員が全部で 200 人くらいいるのかな。議員のネットワークを作って、今の辻先生という方が理事なんですよ。ところが、うまいことに維新が、橋下が教育基本条例を発表して、たまたまうちの理事長の辻淳子先生が維新の会の副団長なんですよ。だから、辻先生を副団長にするのなら我々の面倒もみないといけないんですよと言ったら、「えー」と言ってるけどね。我々が——百人の会が橋下を応援しているわけでもないし、橋下維新を応援しているわけでもないし、橋下維新の教育を応援してます。というのも橋下に「お前、俺らをパクっただろ」。まったく一緒だからね、言っていることが。彼が日本は資源がないというところから始まっているんですよ。その切り口までまったく一緒でね。あれはいつか絶対にパクリましたと言わせてやる。

話がそれますが、今、維新というのはね、自民からの大阪市議会府議会ですよ。自民からの転向組と、この前の選挙でどさくさに紛れて、わーっと量増えるんですよ。若い子と。若い子はやっぱり政治を知らなすぎる。自民からの転向組っていうのはね、この辻先生にしてもね、議員 70 年だからね。おじいちゃんが 30 年、お父さんが 25 年、彼 15 年。だから半端な人間じゃないからね。大阪っていうのは、ずっと今まで自民党——いろんなことがわかってきたんだけど——大阪は谷川秀善、あいつがドンだよ。あれがすべて牛耳ってきたわけ。谷川が朝鮮総連とかですわ、同和ですわ、あの辺の相談しながら、お小遣いもらいながら大阪の政治をやってきたわけ。その下にいる市会議員、府会議員というのは権限持ってない。だから一切自分で議案提出も条例作るのも、全部こっちの言うがまま。だから、これはうるさいお前ら、わしの言った通りにやっつけばいい、とこれにずっと 30 年間も見えない線が

あって、不満ですよ。私ら別に谷川の奴隷じゃない。やはり我々は我々のしたいことがある。彼らは本当に純粹に教育を考えているんですよ。このままだと日本はダメになると。

今回の教育基本条例も橋下がやったと思うけど、違うんですよ。あれは堺市議会の団長の坂井っていう議員が全部書いているんですわ。もう1つ面白いのはね、維新には弁護士が10人くらいいるんですよ。だから非常に面白いんだけど、彼らが作ってるんですよ。それで橋下は橋下で自分の夢がある。それで議員は議員で、乗り換えたら自分らのしたいことができる。そこで利害関係が一致して、よっこらしよと引っ越したんですわ。だから辻先生なんかはね、維新に行く前と後ではもう生き生き度が違います。昔はもう極端に言ったら目がうつろ。私、したいことがあるんだけど何もできないし、なんていうかどっちを向いて歩いたらいいのかなと。今はそんなもの日本を変えろというのだから。もう生き生き度が違いますわ。だから、僕もよく感じます。世の中変わるのが。だからやっぱりこれに少しでもいいから、何かお手伝いができれば嬉しいなと思って。

日本はね、法治国家です。ご存知のように。議会制民主主義です。だから日本の国を変えようと思ったら、政治を変えようと思ったら、法律条例を改正するか作る。まあ一番親玉は憲法だけだね。それか、あとは裁判で勝つ。それしかありません。街宣しようがデモしようか、それはトンカツに乗っかってるパセリですわ。だから皿の中に全部パセリだったら、何これって話でね、あくまでもトンカツが大事。僕は決してデモとか街宣を否定するわけでもないけどね、それはトンカツがあつての話ですよ。あくまで街宣とかいうのは何十回もやってきたから言える話ですよ。やってた時には、一番有効かなと思ったわけだから。だからそうすると法律を作ったり改正したりするのは、議員だから。我々は代表者を通じて行動して、そう書いてあるわけだからね。

結構みんな、議員何もしてくれんというでしょ。で、政治なんか誰を

選ぼうか変わらんというでしょ。あれはね、そうじゃなくて今日と明日は何も変わらないのです。共産党に入れようが公明党に入れようが民主党に入れようが、誰に投票しようがね、総理が誰になろうがね、野田になろうが谷垣になろうがね、今日と明日は何も変わらんですよ。でもやっぱり3年5年でみると、天と地ぐらい違う。だからその辺からみんなわかりにくいというか、もっとう（狭く）見てるからね。もう少しこう（広く）ものを見る…。で、みんな議員を軽視しすぎますよ。だから僕がよくいうのはね、議員の足踏んだらそれ2000人の足を踏んでいるんだよ、議員に馬鹿と叫べたら2000人に馬鹿言っているんだ、2000人相手に馬鹿と言えるのか。我々は公正に選挙された議員を持っているからね。それだけ議員はエライですよ。

よく票が欲しいのかというけどね、当たり前だつて。票というのはみんなの意見だから。この意見の多いのを代表するわけだから、当たり前ですそんなことは。それをみな自分の意見と合わない、その議員をボロカスに言う。それはそうじゃなくて、あんたの意見が世間の常識とは違うんだつて。議員がおかしいじゃなくて、あんたがおかしいんだつて。だから僕は外国人に反対だけど、もしそれが多数決で可決されれば、それはそれでいいと思いませんよ。そういう人が多いんだから。それまではもちろん、僕は言い続けますけどね。こうなったらこういう弊害が起きますよ。それでもよろしいんですかと。それでもよろしいという人が過半数だったらさ、甘んじて受け入れるか、僕が日本を出て行くかどちらかですよ。

別に僕は自民党を支持するわけではないです。強いて言われれば消極的選択で、断腸の妥協、それ以外にもの言いがいい。だから本当にこのスリッパでも自民党の議員をひっぱたいてやりたい、「お前らがもっとしっかりせんから」。本当に自民党がしっかりしないから。やっぱね、左は真面目ですよ、左翼は。だから左翼というのは、やっていることは正しいんですわ。言っていることがおかしいんで。ビラまきやって、おか

しいことがあったらきちっと全部裁判やって。負けても負けても、それでもめげずにね。だから最近左翼のね、勝訴の判決が結構出てるでしょう、ばらばらと。本当に馬鹿どもがね、裁判所が左傾化したとね。違うんだよ。左翼はね、今まで一勝するために百敗しているんです。百敗してやっと一勝掴んでるんですよ。ところが保守の方っていうのはさ、胡坐をかききってる。

第一、保守でいろんな人いっぱいいるでしょ。保守の中で一番大きいといえば、菅直人とね、安倍さん（の違い）が一番大きい。運動の基本というのは、いうならば自分で壁新聞作って、やっぱりこれを郵便で送る、いくら今ネットがといってもやっぱり郵便で送る、宛名書きする、あれ安倍さんって封筒の宛名書きしたことあると思います？菅直人は？そういう違いですよ。安倍が菅に逆立ちしても勝てるわけないって。

だって、ランニングもせずしていきなりバットを振り回したらさ——やはりランニングでしょ、まずは。どこの野球部に入っても。どこのテニス部入ってもラケット振り回す前にやはりランニングでしょう。やはりそういった意味でね、安倍さんはランニングもしてない。だから本当になんというのかな、延長18回のね、2アウト2-3くらいになってきたらね、菅には勝てないんじゃないかな。だからうわーっと行け行けどんどんという時にはね、僕はすごくいいと思いますよ。でも本当のしのぎあいね、生きるか死ぬかかという時には僕は強さを感じない。そういった意味ではね、菅とは思想はまったく逆だけど、僕は菅の方が強いと思いますよ。結局、運動って手間でしょ。

3. 外国人との接点

生まれは福井なんです、横浜に——親父が元々横浜の人間なんで、親父の実家ですよ、横浜に子どもの頃ずっといました。山下町——南京町の近所なんです。周り全部中国人、山ほどいます。知り合いというよりも周りにおった。特に親父の周りにね。親父が、運送関係の仕

事してたから、中国で会社仕事、荷物持ってくるんですよ。で、やっぱりお金を払わんとか、いちやもんつけてとか、そんなトラブルがしょっちゅうあったんでしょね。

そうするとね、うちの親父がね、チャンコロ、チャンコロ言うんですよ。チャンコロは、チャンコロは、侮蔑ですよ。チャンコロは侮蔑語でなくして、シナがどうのこうのってね。そんなのは屁理屈でね、あの頃はチャンコロなんてのは所詮侮蔑語ですよ。ただ、僕はそれがすごく不愉快だった。親父が中国人をね、チャンコロと呼ぶことが僕は不愉快だった。小さい頃。何でそんな差別するんだと。で、大きくなるにしたがって、やはり中国人の、いろいろなその——例えば南京大虐殺にせよ、そんな大きい話でなくてもね、身近な話でも彼ら一緒に生活しますとね、僕はできない。もう人のものは人のもの、自分のものは自分のもの。チャンコロ、侮蔑的によばれて当然やなど僕はそう思ってます。全員じゃないですよ、でも圧倒的にそういう連中が多い。特に中国人では。こいつはナイスガイというのは僕は会ったことがない。

韓国・朝鮮というのを意識し始めたのは、こちらに来てからですね。中学の時にもクラスに韓国の子はいました。やはりそれは差別してました。ひどく——20軒くらいの小さな家があって、あのそばに行ったらいかんとか。でもそれはいかんといっても、別に仲がいいし——なんていうのかな、特に理由があって仲が悪いわけではないしね。親があかんというからあかんのかな、とこれですよ。わざわざ行って来ますといっ行って来てたわけじゃないし。で、二十歳、30(歳)、40(歳)と歳が来るにしたがって、いろいろな現象が起きますよね。

例えば竹島の問題とか。まあ、竹島が一番わかりやすいけども、結局韓国についていろいろ本書いてますわ。片っ端から読んでいくと、「恨」ね「恨」——誰だったかな、恨という概念をわかんなかったら韓国人を理解できないって、そういう文章があったんですよ。それを読んで、「ああ、これかな」と。だから、文化が違うんでしょね。文化というのは

ね、音楽とか美術とかそういう文化じゃなくして、魂の文化、心の文化。やっぱり日本人というのは相身互いとかね、今日も「インタビューしたいんですけど」「うん、いいですよ」。でも韓国人のイメージというのはね、「インタビューしたいんだが」「じゃあギャラなんぼくれるの」こんなイメージね。もちろん現場に出くわしたわけではないけども、だから歴史自身が——自分がない。

もっと言い出したら韓国が、朝鮮が、もっとしっかりしてりゃ、日清も日露も起きてないから。あそこがそもそも頼りないからだね、ロシアを抑えるために日本が出て行った、やむを得ず。何も日本は好き好んで行ったわけでもないし。やっぱ文化の違いなんだろうけども、例えば竹島に関して何か向こうはね、あれ記事か何かをちぎってね、記事食べながら国旗燃やしている写真、知りませんか。そういうとんでもない写真が…。

身近に（住む韓国・朝鮮人について）は数字ですね。生活保護が圧倒的に多いとか。まあ、朝鮮学校の問題とか。政治的にあまりにも無茶言い過ぎる。だから、これを中へ受け入れたら、日本の国内が…ブラックバスと一緒にですよ。今、琵琶湖大変でしょう。

最近ね、人権人権とか、あれはねえ、一番いけないのは朝鮮人じゃなくて日本人ですよ。日本人が尻搔いているわけですから、言え言えって。日本人の極左の連中が運動する。同和もこうなってきた——何とか法が廃止になって、ネタがない。日教組も今一步、そんなに組織率も 20-30% でしょう。どっかに誰か何かで——利権ですよ、要するに。左翼の利権。左翼が尻搔いて朝鮮人に暴れさせてだね、当然それに対抗するものが出てくる。マッチポンプな話で、火付け役は日本人ですよ。仮に生活保護といってもね、朝鮮人は無茶苦茶って、明らかな数字を見ればわかります。あんな役所がパンといたらおしまいだから。役所がはいはい言って受けるからいかんのであって。

4. 関西保守運動との関わり

(いろいろ関わるのは)狭い世界だから。昔、共産党のある奴と話したら、向こうはもっと狭い言っていたね。若い奴の取り合戦ですよ。若い奴をどれだけゲットできるか。もう「結局はその戦いですね」「そうですな」言っただけで。そうこうしているうちにね、まず拉致運動。だから、新風っていうのがありますよね。新風が大阪で拉致運動始めたんですよ。それで付き合いいうから「はい」と行ったんですわ。月1回くらい活動するんですよ。半年くらいたって、5回6回行って、はっと周りを見たら僕しかない。大笑いだ。僕はやっぱり、どんなことでも始めたら途中でやめるのは犯罪だと思うから、続けると。だからそれからずっと続けていって、そうこうしているうちに救う会ができた。それで救う会の大阪支部やってほしいと言われて、まあいいですよと。今までやってたことだからね。それで救う会、拉致問題ですよ。

それでいろいろな勉強していくと、拉致も竹島も憲法もすべて根っこは一緒ですよ。拉致が解決して竹島が解決しないとか、尖閣が解決したけどもこっかが解決しないとか、ありえません。解決する時は全部一緒に解決する、日本が変わる時です。そういうワンチャンスを僕は今、橋下に夢見てるんだけどね。

やっぱり従軍慰安婦の問題とか、南京大虐殺の問題とか、強制連行とかいろいろなものが見えてくる。で、まず自分に被害があるのは——日本人だから、日本人の性格。南京大虐殺にしても従軍慰安婦にしても、ゼロとは思わない。やっぱりアホな奴はいるからね。南京大虐殺も何件かはあったはずだ。あったけども、それが20万とか30万とかとんでもない話だけでも、そこにゴキブリが一匹いたら一匹のゴキブリをもって、この部屋を汚いと評価するのか、汚いとまでは言えないと評価するのか、評価の問題ですよ。一匹おってもね、ここは汚い不潔だというやつは、その人のそういう感覚だからしょうがない。

そういった意味において僕はゼロではないけれども、虐殺なんてとん

でもない話だし、従軍慰安婦といってもそんなものスレスレですよ。みんな生きていくわけだからね。当然、今でも売春といたらね、あいつの嫁さんは売春とかあいつの娘は売春とかいうけども、当時はそんなもの「それがどうした」。生きた者が勝ちだから。軍の関与があったかなかったか、あったって何をもってあったというのか。それこそ暴行の定義みたいなもので、腕を掴んだら暴行じゃないの？胸倉掴んだら暴行なの？胸倉を指2本でつまんだら暴行なの？そんな話でね、軍の関与も真っ白けではない、真っ黒けではない。だから沖縄の集団自決もそうだ。口では言っていないだろう、でも、じゃああの人は目で言っていたと。セクハラと一緒にすよね。あの人はいやらしい目をしてたって。俺は生まれつきこの目だ、そんなものスレスレの話だから。だから殊更それを言うというのは、背景に政治的な意図があると思いがたい。

ただねえ、南京大虐殺に関しても慰安婦の問題もね、やっぱり僕は子どもに事実だけを教えるべきだと思います。絶対ひん曲げずにね。で、その事実をどう判断するかは子どもの価値観だ。今回の橋下の素晴らしいのは——教育基本条例の第一条ね——首長が教育の方針を決めるということなんです。ということはね、革新の人が市長になってしまったら、その町は全市がスターリンの写真が掲げなきゃいかんわけだからね。でもそれはそれでしょうがないと思う。日本は民主主義だから。民主主義を選択してしまったわけだから。いいか悪いかは別にして、吉田茂がそれを選んでしまったわけだから。

(新しい歴史教科書をつくる会には)関わってました。あそこもね、初めは運動体だったんだけど、途中から社交会。僕はダメなんです、社交会というのは。会議10分で懇親会2時間と。そんな懇親会行って酒飲んで——酒自身が僕は嫌いだし。ただただしゃべっているのがね、ああだこうだ、ああだこうだ、問題はだから何？でしょ、一番は。だから文部大臣に火炎瓶をいつ投げに行こうとかね。そこが一番肝心で、そこが何もないのよ。まあ一応、本は今回出したけどね、あそこの保守圏の運

動家というのは、愚痴の言い会。そんなもの愚痴なんかいくら言い合ってもしょうがない。わかりきっている話だから。だからどこの市役所にも組合が部屋を借りていると。だから温度差はありませんというわけね。じゃあ具体的にどうするのか、何月何日にそこについて会議やるとかね、そこが一番肝心なんで。

こと関西に関しては、知らないことないですよ。だから日本会議とももちろん仲がいいしね。ただ、僕は考え方が違う。こってりラーメンが好きな奴と、さっぱりラーメンが好きな奴と。僕は嫌いなどこはないから全部食べるけど——濃いやつも薄いやつも——やっぱり自分が一番好きなのは、結果を出す。やっぱり自己満足のマスターベーションなんかやってもしょうがないしね、いい歳こいて。だから石原慎太郎はね、「NO! といえる日本」——NO と言わないいけないと言ったんです。しかし NO と言わないといけないという話と、(実際に) NO (というの) は違うからね。橋下は NO と言ったんですよ。石原と橋下と僕のなかではこういう感じ(天と地の差)ですね。NO と言わないかんというのはあくまで評論ですわ。白いペンキ塗らないといかんとか。でもあいつ(橋下)は、ばーっと白いペンキを塗ってしまった。

5. 在特会での活動

在特に?あれねえ、3年かな、3年ほど前です。在特を作ると。お互いに名前くらいは知ってましたね。そんなに広い世界じゃないから。まあ、たまたま大阪にこういう奴がいるよって、どこから耳に入ったんですよ。それで桜井がこういう趣旨だと。趣旨は僕も読んでね、入管特例法、僕もおかしいと思うから、単にそれに賛成して、桜井が僕に関西支部長をやってくれと。全国展開したいから関西やってくれ、いいよと言って、東京行って、用事があって行った時に忘れもしない秋葉原の喫茶店でずっとしゃべって。それじゃあ OK、やるよとってやったんですよ。やって1ヶ月2ヶ月3ヶ月、なんかそれがねえ、やっぱおかしな方向へ走

っていく。ちょっとだから違うような気がする。桜井のあれ、自分の名前でもない、仮名だと。源氏名だと。なんでお前、自分の名前できないのか、居所もわからない。なんかその辺からまず僕はクエスチョンマーク。

それで次に何かあったときに大阪に彼が来た。その時に僕は彼に——まあ4、5人いたわけだけどね、「本名は？本名じゃないみたいだけど」。「いや、それは僕を信用して聞かないでおいてください」。「あ、そう。俺が君を信用して名前を聞かないんだなと。俺が名前を聞きたいといっているんだ、お前は俺を信用しないのか、お前が俺に信用しろという前に、お前が俺を信用して言うべきじゃないか。俺、正しいと思うよ」と言って。結局、それがあいつとの縁の切れ目かな。ちょうど1年くらいかな。で、そうこうしているうちに、僕は街頭で何かをやったらきちつと言いたいからね、演説したいから。でもみんな必ずそれをすると、外国人とやり始めると来ますから、朝鮮人が。うわーっとやり始めると周りほうわーっと騒乱。中で1箇所 Youtube であるんですよ。ベルト持ってケツ引っ張っているんですよ。僕がベルトであかんと引っ張っているんですよ。それでいろいろ言っているんだけど、全然ブレーキが利かない。そうこうしている時に、桜井からクビになりました、万歳と。

引き受けてくれるなら誰でもいいんだ、あいつは。後の動きを見てみるとね。2回飲んだら会計責任者で、3回一緒に酒飲んだら支部長。「なんだそれ？」と言って。あまりにも話が浅すぎる。僕は何かものを頼んで、長を受けてくれという時は、やっぱり最低でも3年や4年の付き合い。非常に安易。ごっこ。だから運動とは全然縁遠いものだなと。(関わりは)半年くらいだね。だから、桜井と関わりを持ったのがわが人生最大の後悔だね。

(会員が)1万といってもね、実際あんなの——会費が年間3000円でね、1万人で3000万か、入ってきたというのならそれはすごいけれども。そんなもの、それこそ猫でもできるわ。あれは運動ではなく風俗。一時

ね、暴走族が走り回ってだね、それをば一っと見に行く連中がいっぱいいたでしょう、あれは風俗。ちょっと昔は竹の子族とか、ストリート族とか、風俗あれは。あれは風俗であって運動じゃない。あんなもの運動にされたら迷惑。どういう結果出しました、彼らが。彼らが行動してどういう結果が出たんですか。やっぱり結果が出なかったらね——Time is money です。やっぱり僕は、結果が出ない運動なんていうのは運動じゃないと思いますよ。だから僕は絶えず結果を求めますよ、だから嫌われるんだけどね。

いつも僕、冗談で言うのはね、僕が主催する行事に——集会だろうがデモだろうが、来る人は皆、戸籍謄本を持って来いと。それが来た人に対する安全保障です。誰が来るかわからんのにね——AさんBさんCさん来ますよ、僕を信頼して来ますよ——その人に対しての安全保障の義務があります。そんなもの、わけのわからん奴が来たらさ、安全保障できますか？だからそこは、それが一番揉めた原因ですね、在特と。僕は知らない人は帰れというわけ。名前書いて受付作って。そうするとき、ピョンピョンとかキャンキャンとかネズミとか書くわけ。「お前、どこにこんな名前があるんだ、きちんと書いてもらえませんか」「嫌だ」と「じゃあお帰りください」。それで揉める、(組織の)中で。「折角来たのに」って。現に、それまでに過去5年も10年も僕と一緒にやってくれた方がいっぱいいるわけだから、彼らに対する安全保障。もう1つは僕の性格だと言われればそれまでだけど、てめえの名前も名乗れないやつが何をちやらちやら言っているんだ、運動する資格がない。まず納税です——税金——在特会見ると納税しているとは思えます？あの連中。あと選挙にみんな行っているか。納税と選挙に行かん奴が政治は語るな、最低限政治を語る資格は納税と選挙。

6. 外国人参政権に反対する会

(関わったのは) 4、5年(前)・・。外国人参政権のホームページがあ

るでしょ、あれですわ。(頼んできたのは) ××っていう大阪のある中小企業の社長の奥さんなんですよ。いくらなんでもそれは絶対あかんで、と旧姓にしてやったんですけども。自分がトップにはなれない、トップになってくれと。やらないかんから、トップになってくれと。元々は豊中の男女共同参画の問題で、ずっと一緒にやってたから。

やっぱみんなね、根気がないの。途中で脱落するわけね。結局全部僕に置き土産をおいていくと。一旦始めていけばね、一応けりがつくまで尻すぼみにできない。男が一旦やったのなら。一旦東京に行くといって車で出発したらさ、着かなきゃ。「なんだあいつ名古屋を通過したみたい」「静岡のあの辺で車消えた」では具合悪いもの。

(関わったのは) まあその時やっぱり周りのムードです。みんなやるやる言って、それで・・・周りのムードですね。ただあんまり今までデモとか、自分から行ったこともないですよ。みんなからやるやる言われているからやろうって。お付き合いというわけではもちろんないけどもね、責任はとりますよ。みんなそれだけ気持ちがあるのならやろうか、ということ。あんまり自分から企画を持ち出して、「やるから協力して」というのはないなあ。何人かに言われて、やろうかと言われて、決まってしまうと団体をお願いはもちろん僕の名前でやるし。

(東京の会とは) 親分子分の関係でなくて兄弟ですな。親分子分というより兄貴弟ですな。僕は村田さん尊敬しているし、彼のアイデアが一番大事にしてるし。村田がやっているから俺も関西でやるわ、と言って。××さんもこう言っている、村田もこう言っている。××も村田を知ってますからね。村田はね、非常に心が広い。神田君(参政権に反対する会の代表)の方は、こういう傾向(閉鎖的)にありますね、何かしゃべったら利用されるとかね、何かしゃべったら悪く書かれるとかね。悪く書くのなら書いたらいいでしょ、度を越えれば名誉毀損で訴えたらいいわけだしね。堂々とものをしゃべれないんなら、やめたらいいんだ。やっぱり、自分自身でどこまで自信持っているかということでしょう。自

分の信念の問題というか。

本来、村田が（参政権に反対する会の）代表になるべきだったの。ただあの馬鹿の一番の欠点は、人間が奥ゆかしいから代表を神田君に譲ったんよ。そこがそもそも間違いの元なんだ。だからしょうがないから——やっぱり神田君は積極的じゃない、村田はイケイケどンドン。まして僕が尻搔く。だからあれ（村田）が、東京で独立したんです。そうすれば神田君関係なしに、東京だ東京だとやってたらいいいんだから。だから、東京と大阪がクーデターを起こした。

（活動は）街頭演説、デモが主ですね。あと国会議員への陳情。（人は）来ます来ます。デモすれば200人くらい来ますね。でも、うわーっと来る時期が少ない。本当にブーム。ブームが去るのが早い。今、外国人参政権は過去の話、でもまだわからないからね。死んでいるわけではないんだから。類かむりしているから。現在はね、名前だけのよう形で実際は何もしてませんけどもね。収まるまでは名前を消さんぞと、いつでも噛み付く準備はしているよと。

まあ、いろいろやっているうちの1つです。それがすべてじゃないから。あくまで1つで。まあ、在特が始めた3、4年前、その辺かなあ。あれ、外国人参政権っていつ頃から言われたしたんだろう。（そのことについて）何回も聞いているけど、これ（左から入って右から出る仕草）だからね。あくまで **One of (them)** だから。一番僕が興味があるのは教育です、元々の僕の仕事が。

ただ、外国人参政権に関しては、これは僕は敗北したと思ってるからね。前の衆議院選挙で民主党が勝った、自民党が負けた、この瞬間に勝負がついている。民主党が明日やろうと思ったらできるんですよ、それが選挙ですわ。僕がいうのはね、選挙が終わってから外国人参政権反対反対って、わーわー言っているわけ。お前らアホじゃないか、選挙が終わって、選挙とは白紙委任状だぜって。あいつらが権限を権力をそれを使うか使わんかは知らないけどね、もう負けた話なんだよ。負けたから

とって白旗揚げて、そのまま通してというわけにはもちろんいかんけどね、最後の最後まで悪あがきはしないといけないのだけど、基本的には負けた話。

7. 結語に代えて

T氏は、自らが経営者で時間の都合がつくということもあり、さまざまな保守系運動に関わってきた。そして排外主義運動の活動家としては珍しく、戸塚ヨットスクールに傾倒して反日教組、そして教育関連で保守系議員を応援するような活動を起源としている。それが排外主義に至る経路としては、教育における歴史修正主義が経由地となり、関西極右運動での有名人であるという人脈上の基盤が存在していた。彼自身は、在特会に関わったことを「後悔」としているが、これは運動文化の違いによるもので主張などの相違によるものではなかった。インターネット上のハンドルネームを「リアルな」運動現場でも用いることは、在特会がネット上の活動から生まれた以上は自然なことともいえる。だが、T氏にとっては理解しがたいことであり、それは彼が排外主義運動で連携する年配の活動家達とも恐らくは共通する部分だろう（そうした者は本名で活動している）。

T氏を他の活動家と比較した時の特徴として、ある種の徹底した結果志向が挙げられる。40代になるまで投票に行かなかったという政治との関わりも、目標達成に有効であると認識した時点できわめて積極的になる。他の活動家と単に交友するよりは結果を出さねば意味がないという志向は、本人の語りだけからみれば、中学高校での「勝つこと」がすべてだった教育の刻印を受けているともいえるだろう。それに加えて、事業で結果を出すことを求められてきたことも、それに拍車をかけているとはいいうる。

文献

- 樋口直人, 2012a, 「在特会の論理(1)-(7)」『徳島大学社会科学研究』25号.
- , 2012b, 「在特会の論理(8)-(9)」『徳島大学地域科学研究』1号.
- , 2012c, 「『行動する保守』の論理(1)-(3)」『徳島大学地域科学研究』1号.
- , 2012d, 「在特会の論理(10)」『大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター年報』8号.
- , 2012e, 「行動する保守の論理(4)」『茨城大学地域総合研究所年報』45号.
- , 2012f, 「排外主義運動のミクロ動員過程——なぜ在特会は動員に成功したのか」『アジア太平洋レビュー』9号.
- , 2012g, 「在特会の論理(11)~(14)」『徳島大学地域科学研究』2号.
- , 2012h, 「『行動する保守』の論理(5)~(6)」『徳島大学地域科学研究』2号.
- , 2012i, 「在特会の論理(15)~(18)」『徳島大学社会科学研究』26号.
- , 2013a, 「『行動する保守』の論理(7)」『アジア太平洋研究センター年報』9号.
- , 2013b, 「『行動する保守』の論理(8)」『茨城大学地域総合研究所年報』46号.
- , 2014, 『日本型排外主義』名古屋大学出版会.

(付記) 科学研究費補助金によるプロジェクトの一部として本稿のもととなる調査はなされており、稲葉奈々子、申琪榮、成元哲、高木竜輔、原田峻、松谷満の各氏との共同研究によっている。記して感謝したい。